

アソカ講話059

テーマ「心の畑に種を蒔く」

朝礼講話や人材育成、読書会で読まれる言葉は人生の宝物。古今東西の聖賢、人生の良き先輩から頂いた珠玉の言葉を心の種と捉え、職員の心の畑に蒔き続けてきた。それが私の仕事・役割と信じて。

ある種は柔らかい心の畑に落ち、栄養分を十分に吸い見事な花を咲かせ、ある種は、固い土壌に蒔かれ、言葉を受け入れられず芽が出ることなく終わる。どんな畑に蒔かれるか分からないが、例え一人でもその種が蒔かれたことにより人生を豊かにするきっかけとすることができれば、それを喜びとして私は蒔き続ける。

アソカ園で初めて話をして10年になる。10年間様々な言葉の種を蒔き続けてきたように思う。10年を経て予想以上にその種は見事な花となり、実をつけ、アソカ園の花壇を幸せ色に染めていることをとても嬉しく思う。

これからも人の心の可能性を信じ続けて言葉の種を蒔き続けていきたい。私は私の心を見つめながら、私の心の声、魂の言葉に耳傾ける。私は感謝と謙虚さを失っていないか、愛と優しさに満ちているか、人生を信じて生きているかと自分に問いかける。

こうして皆さんに出会えたこと、その幸せに心から感謝したい。